

令和4年度 第2期岩国市中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

令和5年5月

岩国市（山口県）

○計画期間：令和2年4月～令和7年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和4年度終了時点（令和5年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、第2期岩国市中心市街地活性化基本計画（令和2年2月策定）に基づき、『みんなが考え、みんなで進める、みんなに優しいまちづくり』を基本テーマとする、官民協働の事業を推進している。

令和4年度は、長引く新型コロナウイルスの感染症の影響に加え、円安の進行等による物価高騰の影響もあり、昨年度に引き続き、事業者にとって厳しい経営環境となった。

一方で、「ウィズコロナ」の浸透に伴い、消費者の外出も増えていることから、新規創業者等の出店意欲も高まり、「まちなか再生事業助成金」の利用件数が増加した。その結果、中心市街地内の事業所数は、昨年度に比べ増加し、商店街エリアの空き店舗率も減少した。

これまでコロナ禍で開催を見合わせていたイベント等も、感染対策に気を配りながら一部で復活し、来街者が増加傾向にあることから、まちの回遊性の指標である歩行者通行量も、昨年度に比べ増加している。

令和5年3月13日からは、マスク着用は個人の判断に委ねられ、5月の大型連休明けには、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行することで、さらに消費者の外出意欲が高まり、来街者増加による賑わいや経済活動の回復に期待が持てる。

基本計画の計画事業である「岩国駅前南地区第一種市街地再開発事業」については、令和5年3月に岩国駅前南地区市街地再開発組合が設立され、令和9年度の完成を目標に、中心市街地の賑わい創出に向けた新たな拠点施設の整備が進められている。「岩国駅周辺にぎわい創出施設整備事業」についても、再開発ビルと一体的に整備するため、再開発事業のスケジュールに合わせた実施計画を策定した。

中心市街地の活性化を推進している第三セクターの株式会社街づくり岩国は、将来のまちづくりを担う若者に、自分たちのまちに興味を抱いてもらえるよう、市内の学校で、岩国駅周辺の将来像を描いた「岩国駅周辺地区グランドデザイン」の講演会を行った。また、駅周辺においても、グランドデザインの実現を目指しつつ、駅周辺の事業主や利用者などが「自発的」にまちづくりに携わり、駅周辺の賑わいを創出することを目的に活動する「岩国くらすワークショップ」を継続的に行い、行政に頼らない持続的な賑わいづくりを推進した。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】（基準日：毎年度1月1日）

（中心市街地区域）		平成30年度 （基準値）	令和元年度 （計画年度）	令和2年度 （1年目）	令和3年度 （2年目）	令和4年度 （3年目）
人 口		4,658 人	4,714 人	4,693 人	4,610 人	4,645 人
内 訳	年 少	541 人	544 人	528 人	526 人	540 人
	生 産	3,014 人	3,069 人	3,046 人	2,956 人	2,960 人
	老 年	1,103 人	1,101 人	1,119 人	1,128 人	1,145 人
人口増減数		121 人	56 人	△21 人	△83 人	35 人

Ⅱ．目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
魅力と個性あふれる持続可能な商業空間の創出	①小売業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業の事業所数（岩国駅周辺商店街通り区域）	216 店舗 (H30)	230 店舗 (R6)	208 店舗 (R4)	C	④	③
〃	②本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街の空き店舗率	14.7% (H30)	12.2% (R6)	16.8% (R4)	C	④	③
多くの人が集まり、楽しめ、暮らせる快適な生活空間の創出	③歩行者等通行量（平日）	15,361 人 (H30)	15,900 人 (R6)	10,738 人 (R4)	C	④	③
〃	④歩行者等通行量（休日）	13,823 人 (H30)	13,700 人 (R6)	10,818 人 (R4)	C	③	③
〃	⑤居住人口	4,658 人 (H30)	4,719 人 (R6)	4,645 人 (R4)	C	①	①

＜基準値からの改善状況＞

A：目標達成、B：基準値達成、C：基準値未達成

＜取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類＞

①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

①の小売業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業の事業所数（岩国駅周辺商店街通り区域）については、創業者等が活用する「まちなか再生事業」（空き店舗活用助成事業、まちなか店舗魅力向上助成事業、まちなかりノベーション助成事業、まちなか商業施設等建築促進助成事業の総称）の申請件数が、昨年度に比べ増加している。今後、「ウィズコロナ」の下、経済活動が正常化し、既存事業主の売上回復や新規創業者の増加が予想されることから、目標達成可能と見込んでいる。

②の本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街の空き店舗率についても、令和5年5月に、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行することによって、消費者の外出意欲が高まることが予想され、店舗の売り上げや新たな出店意欲の向上が期待されることから、目標達成は可能と見込んでいる。

③・④の歩行者等通行量については、「ウィズコロナ」の浸透による消費者の外出意欲の向上や開催を見合わせていたイベントの実施等に伴い、回復傾向にある。今後、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行することで、さらに来街者が増加することが予想されるため、目標達成可能と見込んでいる。

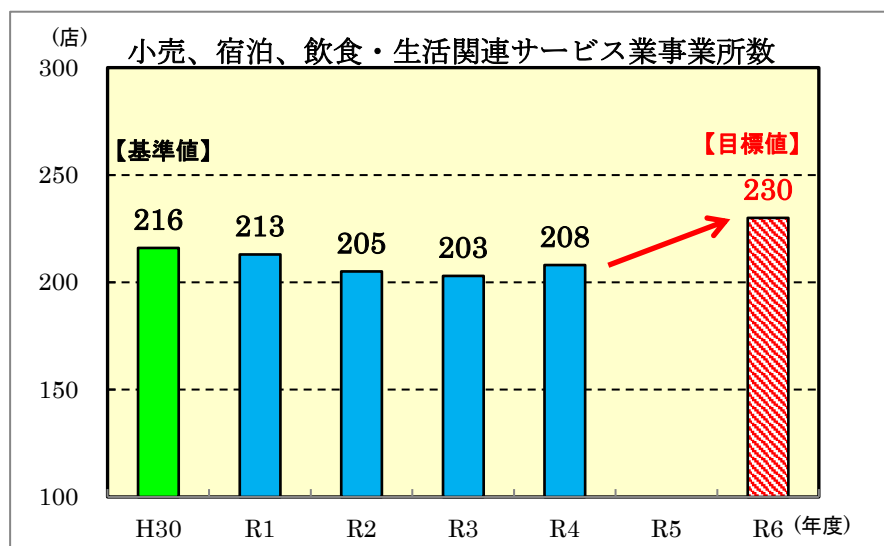
⑤の居住人口については、令和3年度末の岩国駅東口元町地区優良建築物の完成等の影響もあり、昨年度に比べ増加した。現在、市街地再開発ビル建設計画も順調に進んでいることから、駅周辺の利便性の向上による、更なる人口流入も期待できるため、目標達成可能と見込んでいる。

3. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「小売業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業の事業所数（岩国駅周辺商店街通り区域）」

※目標設定の考え方基本計画 P53・54 参照

●調査結果の推移



年度	(単位: 店)
H30	216 店 (基準年値)
R1	213 店
R2	205 店
R3	203 店
R4	208 店
R5	
R6	230 店 (目標値)

※調査方法：机上及び現地調査を実施。

※調査月：令和5年3月

※調査主体：岩国市

※調査対象：岩国駅周辺商店街通り区域の小売業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業の事業所数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ① 空き店舗活用助成事業（岩国市）
- ② まちなか店舗魅力向上助成事業（岩国市）
- ③ まちなかりノベーション助成事業（岩国市）
- ④ まちなか商業施設等建築促進助成事業（岩国市）
- ⑤ まちなか経営技術強化支援事業（岩国商工会議所）

※①～④をまとめて「まちなか再生事業」という

事業実施期間	①空き店舗活用助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ②まちなか店舗魅力向上助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ③まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ④まちなか商業施設等建築促進助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑤まちなか経営技術強化支援事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
事業概要	①エリア内の空き店舗の新規出店者に対して助成措置を講ずることにより、新たな出店を促進する。 ②既存事業者に対して店舗の魅力を向上させるための改修を助成する。

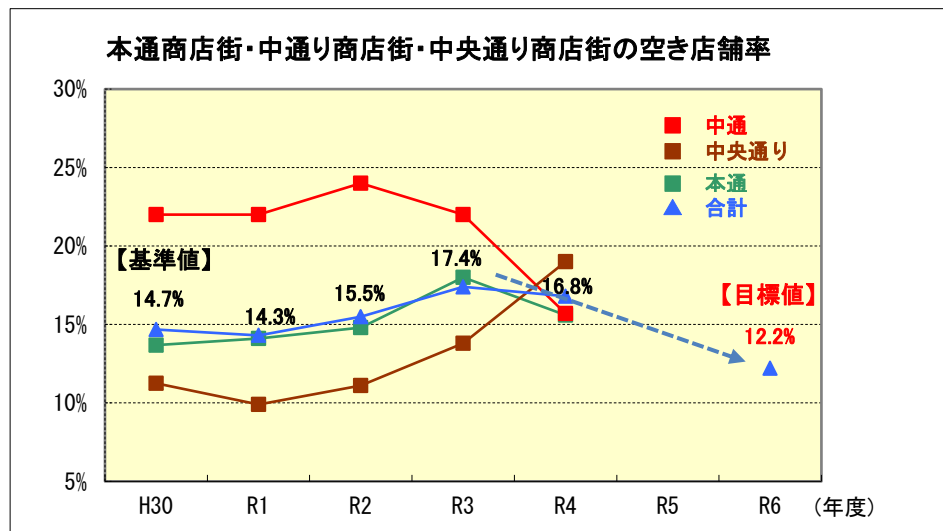
	③不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築の費用を助成する。 ④不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築の費用を助成する。 ⑤店舗経営を行う人に対して、専門家を訪問させ、気軽な経営相談の機会を与え、安定した事業継続を促進する。
事業効果及び進捗状況	本5事業で構成される事業効果を18店舗の増と見込んでいる。 令和4年度の実績としては、 ①空き店舗活用助成事業においては、当該地区で8店舗が事業を活用し、開業した。 ②まちなか店舗魅力向上助成事業においては、当該地区で1店舗が事業を活用し、店舗改修を行った。 ① まちなかりノベーション助成事業においては、当該地区で2店舗が事業を活用し、リノベーションを行った。 ② まちなか経営強化支援事業においては、当該地区で33店舗・合計109回の相談を受け、魅力的な店舗の増加と持続を促進した。
事業の今後について	令和5年度も引き続き、本事業を推進し、新たな出店を促進しつつ、にぎわいの創出を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

今年度は、「ウィズコロナ」の浸透に伴って、消費者の外出意識も高まり、来街者の増加を見込む創業者等の出店意欲も向上してきたことから、「まちなか再生事業」の申請件数が増加した。「まちなか経営技術強化支援事業」については、依然として、集客力を上げるためのアドバイスや事業継続に向けた補助金等の申請に関する相談が多かったものの、開業相談についての相談も増加しており、特に、女性創業者からの相談が昨年度に比べ多かった。相談店舗も増加しており、経営改善の支援を受けてきた事業者の結果も出てきている。今後も、より多くの店舗に、まちなかでの創業や経営改善に役立ててもらうため、商工会議所や㈱街づくり岩国と連携して、周知広報に努める。

「本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街の空き店舗率」※目標設定の考え方基本計画 P54～56 参照

●調査結果の推移



年度	(単位:店)
H30	14.7% (基準年値)
R1	14.3%
R2	15.5%
R3	17.4%
R4	16.8%
R5	
R6	12.2% (目標値)

※調査方法：現地調査

※調査月：令和4年12月

※調査主体：岩国市

※調査対象：本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 空き店舗活用助成事業（岩国市）【再掲】
- ②. まちなか店舗魅力向上助成事業（岩国市）【再掲】
- ③. まちなかりノベーション助成事業（岩国市）【再掲】
- ④. まちなか商業施設等建築促進助成事業（岩国市）【再掲】
- ⑤. まちなか経営技術強化支援事業（岩国商工会議所）【再掲】

※①～④をまとめて「まちなか再生事業」という

事業実施期間	①空き店舗活用助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ②まちなか店舗魅力向上助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ③まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ④まちなか商業施設等建築促進助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑤まちなか経営技術強化支援事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
事業概要	①エリア内の空き店舗の新規出店者に対して助成措置を講ずることにより、新たな出店を促進する。 ②既存事業者に対して店舗の魅力を向上させるための改修を助成する。 ③不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築の費用を助成する。 ④不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築の費用を助成する。 ⑤店舗経営を行う人に対して、専門家を訪問させ、気軽な経営相談の機会を与え、安定した事業継続を促進する。

事業効果及び進捗状況	計画終了時の本5事業による事業効果を10店舗の増としており、空き店舗率は12.2%になることを見込んでいる。令和4年度の実績としては、 令和4年度の「まちなか再生事業」申請件数28件のうち、商店街内での活用は11件あり、その影響もあって、商店街の空き店舗率は、昨年度に比べ改善した。 ⑤のまちなか経営技術強化支援事業においては、33店舗・合計109回の相談を受け、様々なアドバイスにより、課題解決を促し、創業や事業継続に繋げた。
事業の今後について	令和5年度も引き続き、本事業を推進し、空き店舗率を減少させ、にぎわいの創出を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

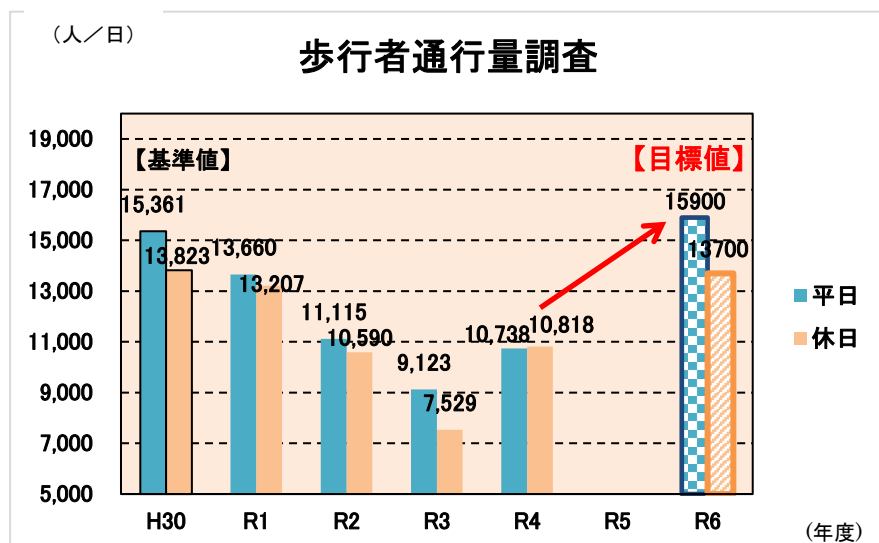
中心市街地全体では、「まちなか再生事業」の申請実績が令和2年度で21件、令和3年度で27件、令和4年度では28件と増加しており、「ウィズコロナ」の下、経済活動は回復傾向にある。また、申請件数のうち、約40%が商店街内での利用で、今後の商店街の活性化にも期待がかかる。また、商店街の空き店舗率も、昨年度に比べて改善している。今後、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行されることに伴い、消費者の外出意欲の向上による来街者の増加が見込まれ、さらなる空き店舗率の改善が期待される。

創業後の事業の安定や魅力的な事業展開を支援するための「まちなか経営技術強化支援事業」においては、昨年度相談件数が30件だったの対し、令和4年度は33件と増加しており、昨年度から継続してアドバイスを求める事業者も多く、延べ109回の支援を行い、創業や事業継続に寄与した。事業経営の安定的な継続が空き店舗の減少に繋がることから、今後も、事業者に応じた支援やアドバイスを行っていく。

「歩行者等通行量」

※目標設定の考え方基本計画 P57～59 参照

●調査結果の推移



年度	(単位)
H30	平日 15,361 人/日 休日 13,823 人/日 (基準年値)
R1	平日 13,660 人/日 休日 13,207 人/日
R2	平日 11,115 人/日 休日 10,590 人/日
R3	平日 9,123 人/日 休日 7,529 人/日
R4	平日 10,738 人/日 休日 10,818 人/日
R5	
R6	平日 15,900 人/日 休日 13,700 人/日 (目標値)

※調査方法：歩行者と自転車の通行量を毎年1月末の木曜日と日曜日に10時から19時に計測

※調査月：令和5年1月

※調査主体：岩国市

※調査対象：中心市街地内16箇所17地点

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 空き店舗活用助成事業（岩国市）
- ②. まちなか店舗魅力向上助成事業（岩国市）
- ③. まちなかりノベーション助成事業（岩国市）【再掲】
- ④. まちなか商業施設等建築促進助成事業（岩国市）【再掲】
- ⑤. まちなか経営技術強化支援事業（岩国商工会議所）【再掲】

※①～④をまとめて「まちなか再生事業」という

事業実施期間	①空き店舗活用助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ②まちなか店舗魅力向上助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ③まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ④まちなか商業施設等建築促進助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑤まちなか経営技術強化支援事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
--------	---

事業概要	①エリア内の空き店舗の新規出店者に対して助成措置を講ずることにより、新たな出店を促進する。 ②既存事業者に対して店舗の魅力を向上させるための改修を助成する。 ③不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築を助成する。 ④不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築を助成する。 ⑤店舗経営を行う人に対して、専門家を訪問させ、気軽な経営相談の機会を与え、安定した事業継続を促進する。
事業効果及び進捗状況	本5事業による事業効果を平日 684 人/日増、休日 630 人/日増と見込んでいる。令和4年度の実績としては、 ①の空き店舗活用助成事業においては、家賃補助で 10 店舗が認定を受けた。また、店舗改修で 13 店舗が助成を受けたのち、新規店舗として開業した。 ②のまちなか店舗魅力向上助成事業においては、2店舗が助成を受けた。 ③のまちなかリノベーション助成事業においては3店舗が助成を受け、生活利便性を向上させる店舗の整備を促進した。 ⑤のまちなか経営技術強化支援事業の令和4年の実績としては、33 店舗・合計 109 回の相談を受け、魅力的な店舗の増加と持続を促進した。
事業の今後について	令和5年度も引き続き、本事業を推進し、新たな出店を促進することで、にぎわいの創出を図る。

- ⑥. まちなかイベント・セミナー推進事業(岩国市・㈱街づくり岩国・民間事業者)
- ⑦. まちなか情報発信事業(㈱街づくり岩国)
- ⑧. 交通安全対策事業(岩国市)
- ⑨. 防犯設備整備事業(岩国市)
- ⑩. まちなか空間魅力向上事業(岩国市・㈱街づくり岩国・民間事業者)

事業実施期間	⑥まちなかイベント・セミナー推進事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑦まちなか情報発信事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑧交通安全対策事業 平成 25 年度～令和6年度【実施中】 ⑨防犯設備整備事業 令和1年度～令和2年度【完了】 ⑩まちなか空間魅力向上事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
事業概要	⑥魅力あるイベントや多種多様なセミナーを開催することにより、交流人口の増加やにぎわいを創出する。 ⑦中心市街地内にある店舗、イベント情報を発信することにより、来街者の増加と回遊を促進する。 ⑧安全対策に配慮した整備をすることで、歩行者が安心して回遊できる環境を創出する。 ⑨道路や公共の場所に防犯カメラを設置することにより、犯罪の予防につなげ、安心して訪れ、暮らせる環境を創出する。 ⑩安らぎと潤いを生み出し歩いて楽しい魅力ある空間を形成することにより、来街者の回遊を促進する。

事業効果及び進捗状況	本5事業による事業効果を平日 44 人/日増、休日 165 人/日増と見込んでいる。令和4年度の実績としては、 ⑥のまちなかイベント・セミナー推進事業においては、新型コロナウイルスの影響でイベント・教室は減少しているが、令和3年度は 41 件だったのに対し、令和4年度は 53 件と、少しずつ回復傾向にある。 ⑦のまちなか情報発信事業においては、各種支援事業の案内や新型コロナウイルス感染予防実施店舗の紹介等を行い、情報伝達に努めた。 ⑨の防犯設備整備事業においてはエリア内に 17 台の防犯カメラを設置した。
事業の今後について	令和5年度も、事業を推進していくことで、にぎわいの創出を図る。

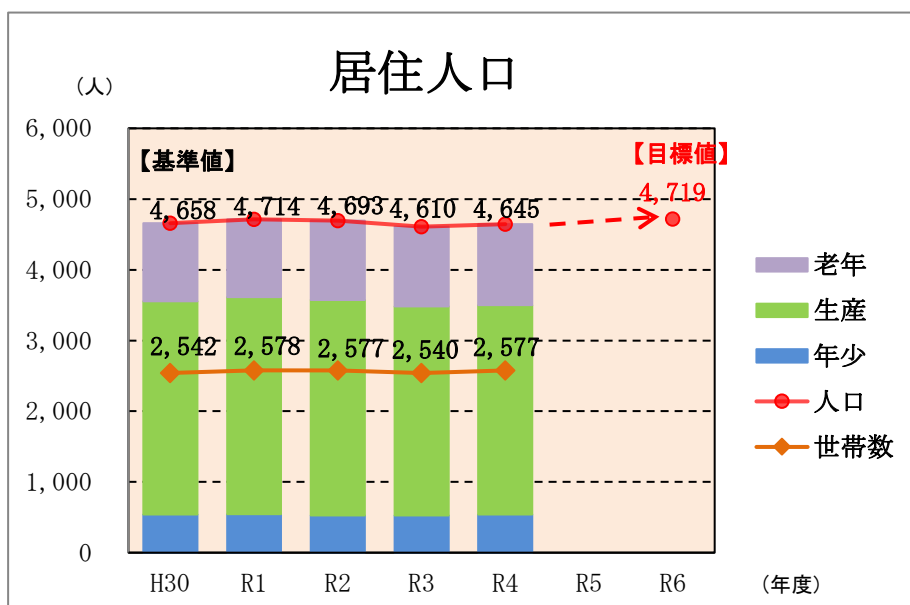
●目標達成の見通し及び今後の対策

令和4年度は、「ウィズコロナ」社会の浸透とともに、これまで開催を見合わせていたイベント等も一部再開され、昨年度に比べて、来街者が増加傾向にある。歩行者通行量も、昨年度に比べて増加している。令和5年5月の大型連休明けから新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行されることから、今後も、来街者の増加が見込まれ、目標達成可能と見込んでいる。来年度も、来街者の増加と回遊性の促進を図るよう、商工会議所や街づくり岩国と協力しながら、事業を推進していく。

「居住人口」

※目標設定の考え方基本計画 P59～60 参照

●調査結果の推移



年度	単位：人
H30	4,658 人 (基準年値)
R1	4,714 人
R2	4,693 人
R3	4,610 人
R4	4,645 人
R5	
R6	4,719 人 (目標値)

※調査方法： 人口データ

※調査月： 令和5年1月

※調査主体： 岩国市

※調査対象： 中心市街地内の居住者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業（株いきいき東）
- ②. まちなかりノベーション助成事業（岩国市）【再掲】
- ③. まちなか商業施設等建築促進事業（岩国市）【再掲】
- ④. 防犯設備整備事業（岩国市）【再掲】
- ⑤. 交通安全対策事業（岩国市）【再掲】
- ⑥. まちなか空間魅力向上事業（岩国市・株街づくり岩国・民間企業）【再掲】

事業実施期間	① 岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業 平成 30 年度～令和3年度【完了】 ② まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ③ まちなか商業施設等建築促進事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ④ 防犯設備整備事業 令和1年度～令和2年度【完了】 ⑤ 交通安全対策事業 平成 25 年度～令和6年度【実施中】 ⑥ まちなか空間魅力向上事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
事業概要	① 岩国駅東口に交流施設および共同住宅を整備することで、にぎわいの創出及びまちなか居住を促進する。 ② 不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築を助成する。 ③ 不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築を助成する。 ④ 道路や公共の場所に防犯カメラを設置することにより、犯罪の予防につなげ、安心して訪れ、暮らせる環境を創出する。 ⑤ 安全対策に配慮した整備をすることで、歩行者が安心して回遊できる環境を創出する。 ⑥ 安らぎと潤いを生み出し歩いて楽しい魅力ある空間を形成することにより、来街者の回遊を促進する。
事業効果及び進捗状況	本6事業による事業効果により、これまでの傾向を踏まえた増加を見込んでいる。令和4年度の実績としては、 ①の岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業については、令和4年3月に完成し、41戸すべて完売している。 ②まちなかりノベーション助成事業においては3店舗が助成を受け、生活利便性を向上させる店舗の整備を促進した。
事業の今後について	今後も、事業を推進していき、居住人口の増加に努めていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

市内全域の居住人口が減少しているなか令和4年度の中心市街地内の居住人口は、令和4年3月に岩国駅東口元町地区優良建築物が完成した影響などもあり、増加した。今後も、市街地再開発ビルの完成に伴う、まちなかの魅力や機能向上への期待などから、居住人口の増加を見込んでいる。

